

経営探訪

management report

北斗通信工業株式会社

会長
森 博美
Hiromi Mori

社員に声をかけ、コミュニケーションを大切にする。何気ないやり取りを交わしながら社員を気遣う。

地域発。おらほで挑む
おらほのためのものづくり

大仙市が、防災用にオリジナルのFMラジオを制作した。そのラジオの開発・製造を受託した企業が、大仙市太田町に本社を置く北斗通信工業。東京から秋田に生産拠点を移し、会社設立から41年。秋田への思いを新たに“メイドイン大仙”による、大仙市民のためのラジオ作りに力を注ぐ。

秋田のために役立つ仕事を

大仙市太田と美郷町六郷に事業所をもち、EMS事業（電子機器の受託生産）を手がける「北斗通信工業」。プリント基板実装から完成品組立までを行う一貫生産が強みで、太田事業所ではプリント基板実装、六郷事業所ではユニット組立を担当している。

8月上旬、六郷事業所を尋ねると、納品を間近に控えてラジオの製造がピークを迎えていた。大仙市オリジナルの防災ラジオは、市内に災害が発生、または発生する恐れがある場合、電源を自動的に入れることができる緊急起動信号の送信に対応。また、大仙市のコミュニティFM「FMはなび」から緊急放送を行い、迅速に災害情報・防災情報を発信して被害の軽減を図る。本体はLEDライト付きで、緊急起動信号を受信するとLEDが赤く点灯して緊急を知らせる。停電時は懐中電灯として利用できる

ほか、普段はFMラジオとして聴くことができる。

大仙市は今年度、このラジオを1万台製造し、高齢者や障害のある市民に対して無償貸与するほか、一般の購入希望者には費用の半額を補助する予定。

「東京から秋田に移住して40年以上になった今、秋田のために役立つ仕事がしたいと考えていた。このラジオの製造を通して、大仙市にお返しがしたい」と、完成間近のラジオを眺め、しみじみ話すのは会長の森博美さん。

共に汗を流し、社員を大切にする

森会長は、北海道十勝の出身。獣医師を目指して上京し、大学の畜産学部を卒業。縁あって義父が経営する電気機器メーカー（東京・台東区）に入社。北斗通信工業の前身であるその会社が新たな生産拠点として、昭和50年に旧仙北郡太田町（現大仙市）に新事業所を構え、北斗通信工業を設立した。

当時の肩書きは専務。秋田に移住し、新事業所を軌道に乗せる役割を担った。「十勝生まれだから秋田の雪や寒さは平気だったが、地域独特の方言や習慣が分からず苦労した」と振り返る。「言葉でうまくコミュニケーションできなくとも、思いや姿勢は“背中”から伝わるはず。そう考えて、自分から製造の現場に入ってとにかく懸命に働いた。社員と一緒に汗を流し、働きぶりや実行力を見てもらうことで信頼関係を築いていった」。日に日に地元採用の社員たちと打ち解け、「言葉や文化など、いろいろ教えてもらった」と昔を懐かしむ。

経営者となってからは、社員を大切にし、社員の暮らしを守ることを第一に考えてきた。「どんなに大変な時でも、社員たちは一生懸命働いてついてきてくれた。自分の儲けだけ追求する経営だったら、みんな辞めてしまっていただろう。人を大切にすることで信頼が生まれ、利益が生まれ、社員の安定した暮らしにつながる。『社員を大切にする』というポリシーは一貫して変わらない」

その思いは今年6月、社長に就任した長男・圭一郎氏がしっかり受け継いでいる。

大仙発のモデルケースを目指す

平成13年には、本社を東京から大仙市太田に移転。秋田から日本のものづくりを支えることに誇りをもってきた。

一時期、東南アジアなどでの海外生産シフトが加速したが、そうした変化に揺らぐことなく、開発・設計、部品調達、製造設計、量産、販売まで、きめ細やかに顧客のニーズに添えてきた。その長年の経験・実績、技術が認められ、今回手がけることになった防災ラジオ。「これはまさに、おらほがつくる、おらほのラジオ。地元企業として絶対いいものにしなければ」と意欲的に取り組んできた。

大仙市が防災ラジオを開発したきっかけは、5年前の東日本大震災。広域にわたり長期間停電が続くなか、被災地で重宝された情報源がラジオだった。大仙市内全域に防災無線を設置した場合、莫大な費用がかかるが、コミュニティFMを活用したラジオでの情報発信は費用を大幅に抑えられるうえ、大仙市に特化した災害・防災情報を地域の隅々にまで届けられる。電池で動かせるので停電時も安心だ。

大仙市が進める行政によるオリジナルのラジオづくりは、県内外の行政からも注目を集めており、森会長によると完成前にもかかわらず、既に問い合わせが数件入っているという。大仙市発のこの取り組みが全国に広がる可能性もあり、森会長は「今回のラジオづくりの経験を今後活かし、雇用を拡大して、地域にさらに利益を還元できるように頑張りたい」と燃えている。



北斗通信工業株式会社

本社 太田事業所 〒019-1603 大仙市太田町中里字二十町239-1
TEL.0187-88-1634 FAX.0187-88-1357

六郷事業所 〒019-1404 仙北郡美郷町六郷字小安門207
TEL.0187-84-3707 FAX.0187-86-7585

- 設立/昭和50年
- 事業内容/EMS事業(開発・設計・資材調達、プリント基板実装、製品組立)、一般労働者派遣事業
- 資本金/1,200万円
- 従業員数/130人



- A 太田事業所の第1ライン。クリーム半田印刷機、高速複合型装着機、小型汎用装着機、窒素リフロー炉を保有する。
- B 完成品の梱包作業(六郷事業所)。
- C 大仙市のオリジナル防災ラジオ。前面のスピーカーは「全国花火製技大会」で有名な大仙市らしく花火のデザイン。
- D プリント基板実装。各種電子回路基板の表面実装、フロー挿入、手はんだ付け作業など、試作から量産まで幅広いニーズに対応。
- E 事業所では多くの女性スタッフが活躍している。